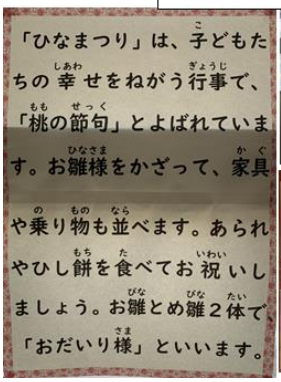
みんなが集うコモンホールの展示物を紹介します。

令和３年３月４日（木）　篠原校長

室内で活動できるコモンホールには、体育の時間や自立活動の時間に運動やストレッチなどをする広場があります。中休みや昼休みには、たくさんの子ども達が集まってきて、先輩・後輩入り乱れて楽しそうに遊ぶ姿が見られます。

コモンホールの展示スペースには、季節ごとにテーマを決めて工夫された展示物（掲示物）が並びます。新年明けには、干支の説明が展示してありました。今回は、ひな祭りにちなんだクイズやひな祭りの食べ物の説明がしてあります。日常的に視界に入るように工夫をして、遊びの中で言語を増やし学習を促す言語環境づくりは、とても重要です。

コモンホールの季節ごとに工夫された展示物



ぞう組さん作成のひなかざり

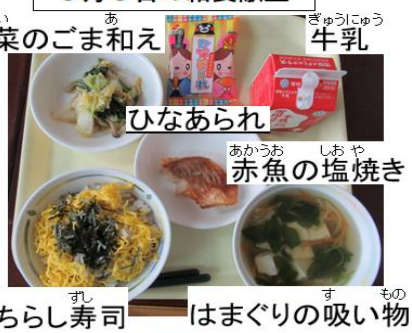
ひなまつりの時にたべるおかし。
白は雪の大地、緑は木々の芽、赤は命を表している。

酢飯（おすしのごはん）にたくさんの具材をのせ、のりや錦糸卵でかざりつけたおすし。

貝がらがぴったりと合うことから、「将来よい夫婦になれるように」という願いをこめて食べる。

ひし形のもち。赤・白・緑の３色のものが多いが、他の色が入っている地域もある。

３月３日の給食献立



幼稚部の卒業証書授与式の予行練習が行われました。卒業のぞう組の皆さんは、背筋をピンと伸ばし、大きな声で返事をして、堂々と卒業証書を受け取っていました。かなりの緊張感の中、一生懸命さがとてもよく伝わってきて感動しました。

幼稚部の卒業式の予行練習